

大学の目的 (学則 第3条)	学部(学科)の教育研究上の目的 (学部規則等から抜粋)
<p>本学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>本学部は、人間発達に関わる教育研究を通じて地域と協働して豊かな社会を形成し、人間と環境との調和及び国際社会に貢献できる教育人材を育成することを目的とする。</p>

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>【卒業認定・学位授与方針】 人間発達科学部は所定の教育課程を修得し、以下に示す「幅広い知識」、「専門的学識」、「問題発見・解決力」、「社会貢献力」、「コミュニケーション能力」を身に付けた者に学士(教育学)の学位を授与する。</p>	<p>【教育課程編成方針】 人間発達科学部では、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる5つの能力を身に付けさせるため、教養教育科目及び専門教育科目を体系的に編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度を中心にして、話し合い活動を取り入れた少人数の基礎ゼミや学部共通科目で「人間発達」について多面的に理解する入門科目を実施し、幅広い知識やコミュニケーション能力等を修得させる。 ・人の発達上の諸問題及び豊かな人間環境創造に関する専門的な方法論と知識を体系的かつ学際的に学ぶ専門教育科目により、専門的学識等を修得させる。 ・学校・生涯学習・保育・福祉などの場で人を教え、支援する人材を目指す学生のための実践科目や、現代社会の複雑化する諸問題を解決できるようなプロジェクトを遂行する形式の授業を実施し、責任感や創造力等を修得させる。 ・学校・生涯学習・保育・福祉などの場における問題の発見・解決方法の選択、調査・実験などの活動、考察や発表のプロセスを実践的に学ぶ科目を提供し、創造力等を修得させる。 <p>【教育課程実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年間の学修を通じて、人を育てる能力の高い人材として社会に出られるよう、大学生としての学び方の基礎から実践的な教育プログラムまで、様々なカリキュラムやプロジェクトを実施する。 ・1年次においては、語学などの全学「教養教育」に加え、「学部共通科目」及び「基礎ゼミナール」の履修を通して、自分の資質や進路を考えて所属コースを選択するための基盤的な学修を実施する。 ・2年次においては、「学科共通科目」に加え、所属コースの「専門領域科目」の履修を中心とした学修を実施する。 ・3年次においては、各種の専門教育科目の履修に加え、学外での実習など実践的な科目の履修を中心とした学修を実施する。 ・4年次においては、ゼミナールや特別研究の履修を通じて、より専門的かつ実践的な学修を実施する。 	<p>【入学者受入れ方針】 人間発達科学部は、人間発達を広義の教育と位置づけ、人間の豊かな発達と調和をめざすとともに、生涯にわたって学習を支援できる教育人材を育成している。『人を教えるヒトを育てる学部』をキーワードに、教育学部で培われた、教育技法の拡充と複雑化した人間環境の学際的追究を組み合わせることを通じ、地域社会において、教員養成とともに人間の生涯学習を促進する教育人材の養成を目的としており、次のような入学者を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員を始めとして、乳幼児・児童から成人・高齢者にいたるまでの、障がい児(者)を含めた人間の発達段階に応じたいろいろな学習の支援に興味がある人 ・豊かな人間環境を創造するために、理系・文系を横断した幅広い知識を学び取り、学校教育や社会教育を始めとするいろいろな学習の支援に興味がある人 <p>【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】</p> <p>一般入試(前期日程) 大学入試センター試験では、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人間発達科学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 個別学力検査では「小論文」、「外国語(英語)」、「数学」、「実技検査」を課し、「小論文」では課題に関する知識や関心、理解力、分析力、論旨・主張の明確さと説得力(論理性、具体性)等の観点から評価し、「外国語(英語)」や「数学」では問題の理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、「実技検査」では基礎体力及び運動技能を評価する。</p> <p>一般入試(後期日程) 大学入試センター試験では、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人間発達科学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 個別学力検査では「小論文」を課し、課題に関する知識や関心、理解力、分析力、論旨・主張の明確さと説得力(論理性、具体性)等の観点から評価する。</p> <p>特別入試(推薦入試) 大学入試センター試験では、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人間発達科学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 「小論文」、「実技検査」、「面接」、「集団討論」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力、競技力等を評価し、多様な学生を選抜する。</p> <p>特別入試(帰国生徒入試、社会人入試) 「小論文」を課し、課題の理解力、論理的な思考力、文章表現力を評価する。 「面接」を課し、志望動機、学修意欲を評価する。</p> <p>私費外国人留学生入試 日本留学試験では、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、人間発達科学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。 「小論文」を課し、課題に関する知識や関心、理解力、分析力、論旨・主張の明確さと説得力(論理性、具体性)等の観点から評価する。 「面接」を課し、本人の意欲及び当該学科との適合度をみる。</p> <p>【入学前に学習すべきこと】 高等学校の教育課程を幅広く修得し、以下の内容を身に付けること。 ・確かな学力(基礎的・基本的な知識・技能、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力、主体的に学修に取り組む意欲・態度) ・豊かな心(社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」、社会奉仕の精神、他者への思いやり) ・健やかな体(健康の保持増進のための実践力)</p>
【学修成果の到達目標】	【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	【求める資質・能力】
<p>【学修成果】 考え方や立場の相違を受容し多様な価値観を尊重できるように、幅広く、様々な分野の知識を身に付け、さらに、新たな知識獲得のための学修を継続していける能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 多文化・異文化に関する知識、社会と自然に関する知識の理解、リーダーシップ、生涯学習力</p>	<p>【学修内容】 基礎ゼミ、学部共通科目、更に「人間発達」について多面的に理解する入門科目を通して、知識を修得し考え方や立場の相違を受容しながら、多様な価値観を尊重できるように、学修を継続する能力を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 文献講読やICT機器を活用して、幅広く様々な分野の知識を身に付ける。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート執筆及び期末試験によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 基礎的・基本的な知識</p>
<p>【学修成果】 教育心理、学校教育、発達福祉、地域スポーツ、環境社会デザイン、人間情報コミュニケーションに関する豊富な学識を有し、教えられる人・支援される人に応じた教材選択や学習指導ができる実践的な指導能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 教育職員免許状、保育士資格、社会福祉士受験資格、スポーツ指導者資格、認定心理士資格を取得できる能力やICTに関する技術、語学力、イベント等の企画力</p>	<p>【学修内容】 教育心理、学校教育、発達福祉、地域スポーツ、環境社会デザイン、人間情報コミュニケーションに関する豊富な学識を修得する。</p> <p>【学修方法】 文献講読や実技等演習を通して、専門的分野の知識を身に付ける。</p> <p>【学修成果の評価方法】 授業ポートフォリオやレポート、プレゼンテーションシートなどから「人の発達上の諸問題及び豊かな人間環境創造に関する専門的な方法論と知識」について評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 指導能力を身に付けるための学力的基盤(思考力、想像力、鋭い言語感覚、国語を尊重する態度、多面的・多角的な見方・考え方、表現力、構想力、創造力、鑑賞力、基礎体力、基礎的運動技能)</p>

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
【学修成果の到達目標】	【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	【求める資質・能力】
<p>問題発見・解決力</p> <p>【学修成果】 学校・生涯学習・保育・福祉などの場で人を教えたり、支援する際に、個性や課題解決能力を生かす指導法や教材について、論理的に思考して開発する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 情報収集力、分析力、課題発見力、思考力、指導法や教材の開発力</p>	<p>【学修内容】 人を教えたり、支援したりする人材をめざす学生のための実践科目や、現代社会の複雑化する諸問題を解決できるようなプロジェクトを遂行する形式の授業科目を通して、個性や課題解決能力を活かす指導法や教材について論理的に思考して開発する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 問題解決型の授業で得た知見を基に、教育実習、インターンシップ等の機会を利用しながら、実社会で求められる問題発見・解決力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート執筆及び期末試験によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力 主体的に学修に取り組む意欲・態度 必要な情報を収集、加工し、相手を考えて発信する能力及び情報機器の基本的操作能力</p>
<p>社会貢献力</p> <p>【学修成果】 人を教えたり、支援することが人格形成や人生設計に関わることを自覚し、使命感や責任感を持って行動する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 教師・指導者としての倫理観や自己管理に関する理解</p>	<p>【学修内容】 主として、ボランティア活動に関わることで、人を教えたり、支援したりすることが人格形成や人生設計に関わることを自覚し、使命感や責任感を持って行動する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 「子どもとのふれあい体験」、「富山大学スマイルフェスティバル」等のボランティア体験の企画運営を通して社会貢献力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 レポートの内容を通して評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」 社会奉仕の精神、他者への思いやり 健康の保持増進のための実践力</p>
<p>コミュニケーション能力</p> <p>【学修成果】 円滑な人間関係を構築する能力や外国語でのコミュニケーション、メディア・リテラシー、コンピュータ活用などの情報収集・分析・発信する能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 他者理解力、ICT活用技術、外国語運用能力、プレゼンテーション技術、表現力</p>	<p>【学修内容】 初年度から始まる基礎ゼミ、学部共通科目、更に「人間発達」について多面的に理解する入門科目を通して、円滑な人間関係を構築する能力や外国でのコミュニケーション、メディア・リテラシー、コンピュータ活用などの情報収集・分析・発信する能力を修得する。</p> <p>【学修方法】 教育実習、インターンシップ、ボランティア体験を通して、コミュニケーション能力を培う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 講義中の質疑応答やレポート執筆及び期末試験によって評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする能力</p>